

焼酎かすを利用した事業案

宗城大学

起業家教育を受講する大学
生・大学院生のほか、起業家
教育を実施している大学・大
学院の教職員や外部講師を対
象として開催されるのが、経
済産業省が主催する「ビジネ
スプランコンテスト全国大会
(University Venture Grand
Prix 2016 = UVGP2016)」

だ。その第5回大会が、去る
1月22日、東京大学（東京都
文京区）で開催され、崇城大
学（熊本市）生物生命学部の

応用生命科学科4年生・古賀
碧さんと応用微生物工学科3
年生・後藤みどりさんのチー
ムCiamo（シアモ）が、
「TOMODACHIノイシャル
アントレプレナーシップ賞」
を受賞した。

当日は全国の大学・大学院
生から寄せられた応募書類を
審査し、突破した10組が最終
審査として発表に臨んだ。ま
た、発表を踏まえて活発な意



受賞し笑顔を見せる古賀さん
（中央左）と後藤さん（中央右）

見交換がなされ、参加者にと
って有益な情報交換の機会と
なった。

ファイナリストに選ばれた
のは、慶応義塾大学（東京都
港区）、筑波大学（茨城県つ
くば市）など。各チームが研
究成果を発表する中、崇城大
のチームは「焼酎かすを利用
した光合成細菌の培養キット
の開発・販売事業」をテーマ
に熱弁をふるった。焼酎かす
を利用することで光合成細菌
を安く培養するというアイデ
アだ。代表の古賀さんが地
元・熊本県球磨郡あさぎり町
の焼酎蔵を訪ねた際、産業廃
棄物となっていた焼酎かすの
活用を求められたのがきっか
けで企画されたのだという。
同大の宮坂均教授の指導のも
と実験を重ね、光合成細菌の
低コスト培養に成功。審査で
は社会性が高いプランとして
高く評価された。

同大は「崇城大学☆起業家
育成プログラム」の一環とし
て「SOJO Ventures（起
業部）」を創設し、起業家の
輩出と育成に取り組んでいる。
今後ますます素晴らしいアイデ
アが数多く発案され、有為な
起業家として社会で活躍する
日もそう遠くはなさそうだ。

2017年2月7日号
大学新聞